

第36回特別展

光秀その後の亀山

令和3年

11月3日(水・祝)

▲ 12月12日(日)



開館時間 9:00～17:00
(入館は16:30まで)

月曜日休館

入館料 大人 400円

小中学生 200円

30名以上の団体は1割引

※障がい者手帳をお持ちの方とその介助の方、
亀岡市文化資料館友の会会員は無料

※11月13日(土)・14日(日)は、
関西文化の日のため無料



亀岡市文化資料館

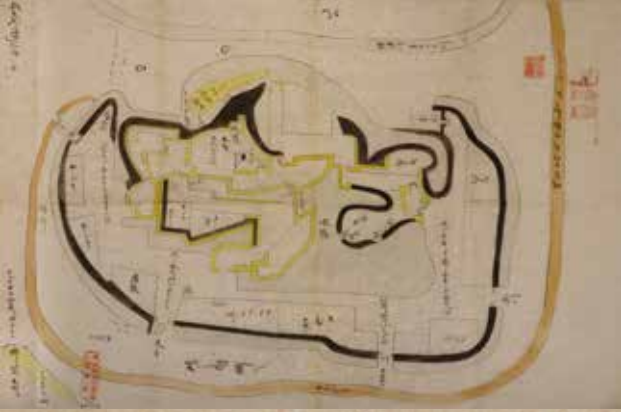
〒621-0815 亀岡市古世町中内坪 1
(JR 亀岡駅から徒歩 7分)

TEL 0771-22-0599 FAX 0771-25-6128

亀山城を築城し、丹波攻略を成し遂げた明智光秀は、本能寺で主君織田信長を討った後、山崎の合戦で羽柴秀吉に敗れます。光秀の領国丹波は秀吉が支配することになり、秀吉は京都に接した丹波および亀山を重要視し、亀山城主には養子の秀勝や小早川秀秋らを置きました。

関ヶ原の合戦後には、徳川家康によって岡部長盛が亀山藩主となり、また亀山城は秀吉や家康による整備を経て、天下普請で藤堂高虎により慶長 15 年 (1610) に五重層塔型の天守が完成しました。

本展示会では、光秀が去った後も天下人によって丹波の政治的・経済的な中心地として重要視された亀山および亀山城について紹介します。



▲丹波亀山城図 (野田市立興風図書館所蔵)



▲岡部長盛画像 (瑞巖寺所蔵)



▲藤堂高虎画像模写 (東京大学史料編纂所所蔵)



▲羽柴於次秀勝書状 (安芸市立歴史民俗資料館所蔵)



▲豊臣秀吉朱印状 (当館所蔵)

講演会【聴講無料・申込要：先着 30 名】

「豊臣期の丹波」

講師：谷 徹也 さん (立命館大学文学部 准教授)

日時：11 月 20 日 (土) 13:30 ~ 15:00

「本能寺の変後の丹波と二人の「秀勝」

講師：片山 正彦 さん (市立枚方宿鍵屋資料館 学芸員)

日時：12 月 4 日 (土) 13:30 ~ 15:00

※オンライン配信も実施します (メールでお申込みください)。

☞ kamebun.entry@gmail.com

展示解説【入館料要・申込要：先着 20 名】

日時：11 月 6 日 (土)、24 日 (水)、12 月 11 日 (土)

いずれも 10:00 ~ 11:00



亀岡市文化資料館

〒621-0815 亀岡市古世町中内坪 1
(JR 亀岡駅から徒歩 7 分)

TEL 0771-22-0599 FAX 0771-25-6128

ご来館の際のお願い

- ・発熱 (37.5℃以上) や咳・咽頭痛などの症状、だるさなど体調に不安のある方のご入館はお控えください。
- ・マスクの着用にご協力をお願いします。
- ・コロナウイルスの感染状況により、内容等が変更となる場合があります。